

1 調査名称：弥富市都市・地域総合交通戦略策定調査

2 調査主体：弥富市

3 調査圏域：弥富市管内

4 調査期間：令和2年度

5 調査概要：

弥富市（以下「本市」という。）の中心市街地であるJR・名鉄弥富駅や近鉄弥富駅周辺は、東西に横断する3本の鉄道によって市街地が南北に分断されており、駅周辺や踏切周辺で歩行者、自転車及び自動車が錯綜する状況となっている。また、交通結節点としての施設整備の遅れにより、地域公共交通のひとつである弥富市コミュニティバス（きんちゃんバス）も効率の良いルートで運行ができていない状況となっている。

これらの交通課題に対応し、交通結節点であるJR・名鉄弥富駅および近鉄弥富駅を中心とした利便性の高い、安全・安心して利用できるにぎわいのある空間を構築するため、JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎の整備や駅前広場、自転車駐車場などの交通結節点の強化を図る必要がある。また、地域拠点との連携を強化するため、バスやタクシーなどの地域公共交通の維持向上や利用促進、及び道路ネットワークの整備強化を図る必要がある。

そこで、望ましい将来都市像の実現のため、まちづくりの根幹としても非常に重要な役割を担う都市交通について、体系的な方向性を示し、関係部局・機関・団体等が相互に協力し、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るため「弥富市総合交通戦略」を策定する。

なお、策定にあたっては、弥富市総合交通戦略推進協議会により協議するとともに、パブリックコメントを実施し、広く市民の意見を募ることで、透明性の高い計画とする。

I 調査概要

1 調査名称：弥富市都市・地域総合交通戦略策定調査

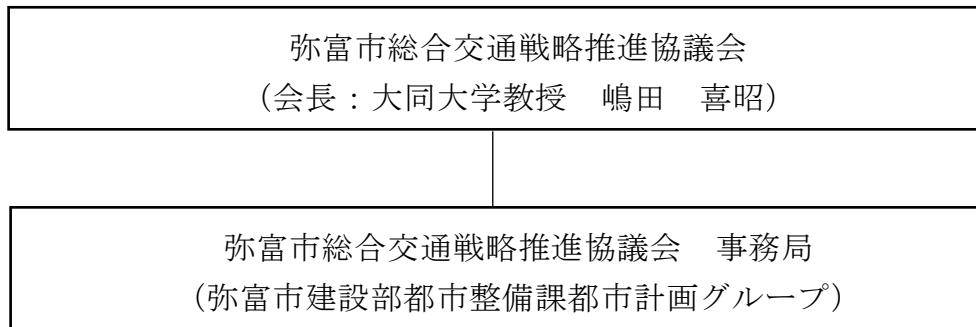
2 報告書目次

- 1 弥富市総合交通戦略について
- 2 弥富市の現状
- 3 市民意向の状況
- 4 上位関連計画
- 5 現状と都市交通の課題
- 6 弥富市が目指す都市交通の将来像
- 7 戦略目標と施策実施方針
- 8 アクションプログラム
- 9 評価指標
- 10 事業評価・推進体制

参考資料

- 参考－1 弥富市総合交通戦略推進協議会
- 参考－2 策定経緯
- 参考－3 用語集

3 調査体制



4 委員会名簿等：

区分	職名	氏名
学識経験者	大同大学大学院 工学研究科 工学部建築学科 教授	◎ 嶋田 喜昭
	(公財)豊田都市交通研究所 主幹研究員 弥富市地域公共交通活性化協議会座長	山崎 基浩
各種団体を 代表する者	弥富市商工会 副会長	伊藤 肇章
	弥富市社会福祉協議会 会長	八木 輝美 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日) 八木 春美 (令和2年4月1日～)
交通関連 事業者	(公社)愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之
	名古屋タクシー協会 専務理事	多田 直紀
	近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 名古屋統括部 運輸部 営業課 課長	藤田 浅崇 (令和2年4月1日～ 令和2年11月23日) 山本 淳 (令和2年11月24日～)
	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部 担当部長	木村 誠司
関係行政 機関の職員	名古屋鉄道株式会社 計画部 計画課 課長	成瀬 友晃
	国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所 計画課 課長	柴田 康晴 (令和2年4月1日～ 令和2年6月30日) 丹羽 武志 (令和2年7月1日～)
	国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官 企画調整担当	上井 久仁彦

	愛知県 都市整備局 交通対策課 課長	片桐 靖幸
	愛知県 海部建設事務所 道路整備課 課長	伊熊 竜彦
	蟹江警察署 交通課 課長	大山 憲一 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日) 大村 真也 (令和2年4月1日～)
市の職員	副市長	○ 大木 博雄 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日) ○ 村瀬 美樹 (令和2年4月1日～)
	総務部長	渡辺 秀樹 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日)
	市民生活部長	横山 和久 (令和2年4月1日～)
	開発部長	大野 勝貴 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日)
	建設部長	大野 勝貴 (令和2年4月1日～)

備考：◎会長 ○副会長

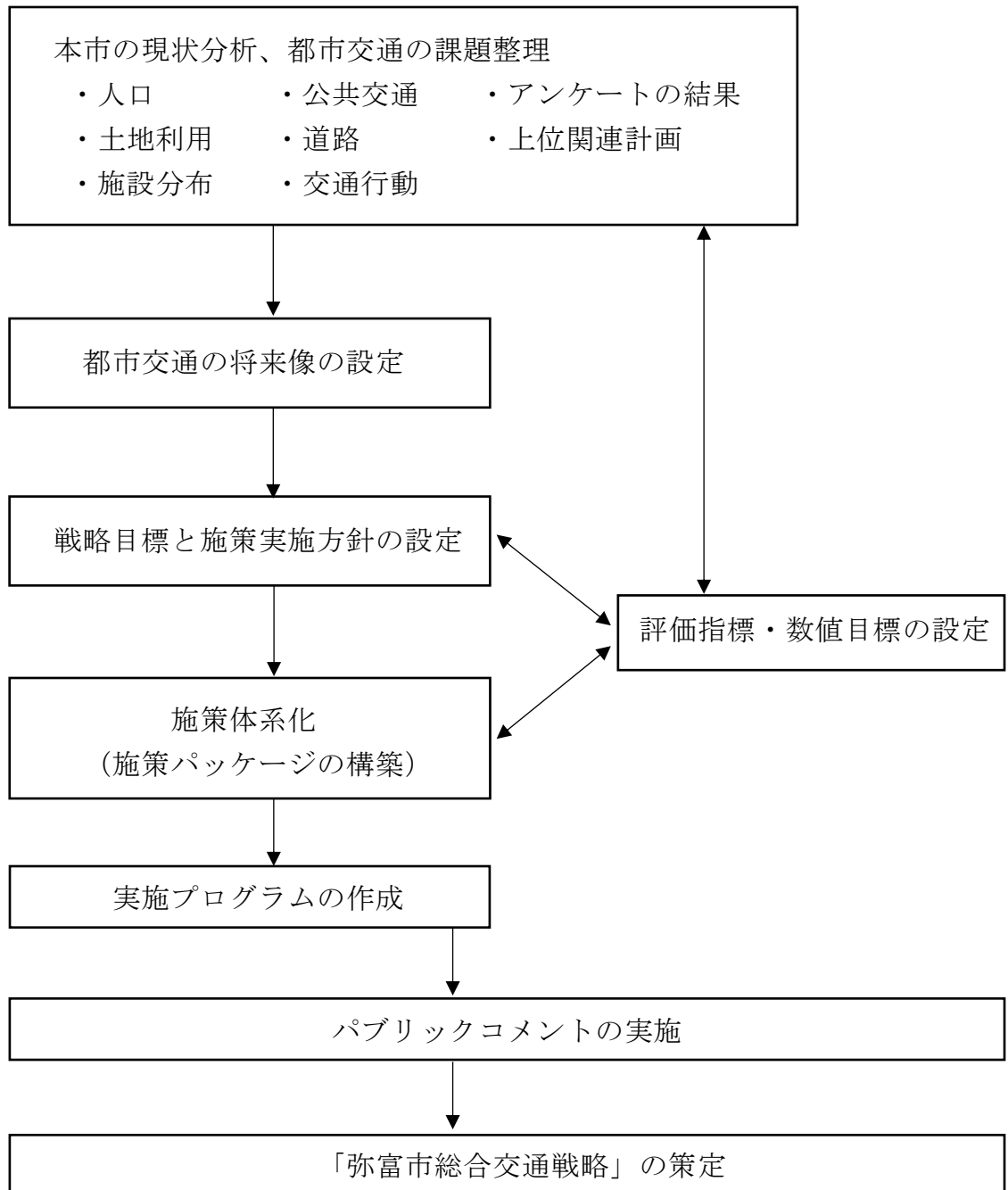
区分	職名	氏名
オブザーバー	国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長	森山 幸司 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日) 鈴木 克章 (令和2年4月1日～)
	愛知県 都市整備局 都市基盤部 都市計画課 課長	片山 貴視 (令和2年3月16日～ 令和2年3月31日) 齊藤 保則 (令和2年4月1日～)

II 調査成果

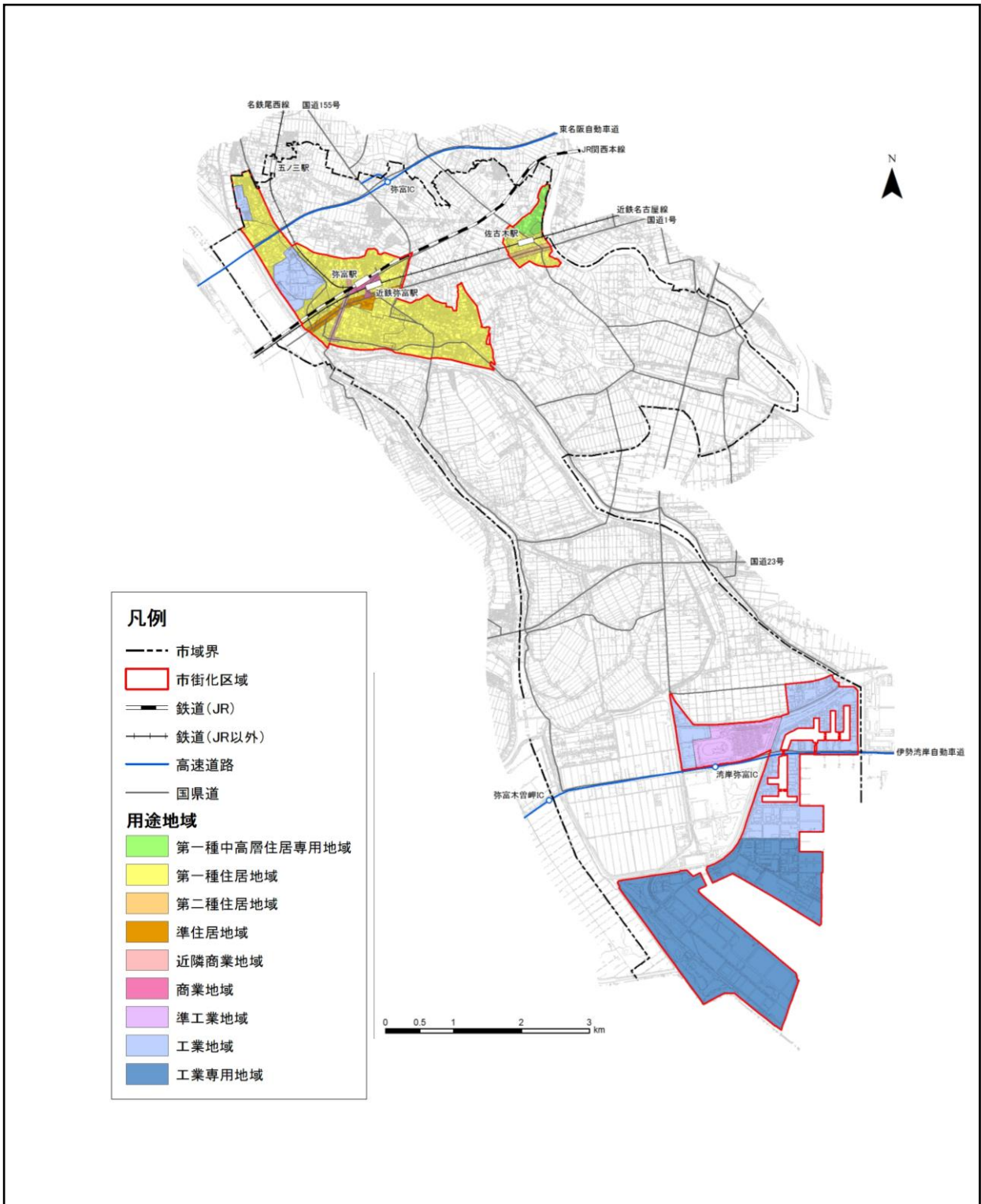
1 調査目的

前年度に実施した現況分析・課題整理、都市交通の将来都市像の設定を基に、戦略目標や施策の実施方針、具体的な施策、事業などを位置づける。また、評価指標・数値目標の設定を行い、パブリックコメントを実施した上で、「弥富市総合交通戦略」を策定するものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

1 弥富市総合交通戦略について

■計画策定の背景と目的

弥富市(以下「本市」という。)における交通課題に対応し、交通結節点である弥富駅を中心とした利便性の高い、安全・安心して利用できるにぎわいのある空間を構築するため、JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎の整備や駅前広場、自転車駐車場などの交通結節点の強化を図る必要があります。また、地域拠点との連携を強化するため、バスやタクシーなどの地域公共交通の維持向上や利用促進、及び道路ネットワークの整備強化を図る必要があります。

そこで、望ましい将来都市像の実現のため、まちづくりの根幹としても非常に重要な役割を担う都市交通について、体系的な方向性を示し、関係部局・機関・団体等が相互に協力し、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るため「弥富市総合交通戦略」(以下「本計画」という。)を策定します。

■計画の対象区域

本計画の対象区域は、本市全域とします。

■計画の期間

本計画は、第2次弥富市総合計画及び弥富市都市計画マスタープランが見据える令和10(2028)年度の都市の将来像を見据えた都市交通の方針を示した上で、都市の将来像を実現するために令和10(2028)年度までの短・中期的に着手すべき施策や進捗管理等について定めます。

令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度以降 (2029年度以降)
短期(3年)			中期(5年)					長期
総合計画都市マスタープラン 目標年								



■計画の構成・位置づけ



都市交通の将来像

地域が繋がり人がにぎわう、快適な都市交通の実現 ～移動環境が整ったまち・弥富～



都市交通の課題	戦略目標・施策実施方針	施策パッケージ
①交通結節点機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスの良さを活かした公共交通利用促進 ・駅周辺施設のバリアフリー化 ・公共交通乗り継ぎ利用者のための乗降場の整備 	1.「交通結節点でのにぎわいを生み出す多様な移動環境づくり」 <ul style="list-style-type: none"> 方針1 にぎわいを創出する弥富駅の交通結節機能の強化 方針2 多様な移動環境に対応した駅周辺のバリアフリー化 	1.「利便性の高い交通結節点の形成」 <ul style="list-style-type: none"> 1-1 自由通路・橋上駅舎化 1-2 駅前広場の整備 1-3 駅周辺市街地整備
②将来の動向を見据えた公共交通網の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納者に対する移動支援 ・地球温暖化抑制のための公共交通への利用転換 ・公共交通空白地域における公共交通移動環境の創出 ・公共交通体系の再構築 ・市外移動における公共交通相互の連携 	2.「誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークによる移動支援づくり」 <ul style="list-style-type: none"> 方針1 人々の日常の移動を支える公共交通の利便性向上 方針2 周辺自治体との広域公共交通ネットワークの形成 方針3 誰もが快適に利用できる多様な移動支援策の拡充 	2.「移動を支える公共交通サービスの拡充」 <ul style="list-style-type: none"> 2-1 公共交通体系を支える取組みの推進 2-2 コミュニティバスの利便性向上、利用促進 2-3 福祉との連携
③高齢化の進展に備えた移動支援策の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの活用による外出しやすい環境づくり ・交通弱者に対する移動支援策の拡充 		
④都市間や地域間連携強化に寄与する道路ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ボトルネックとなる路線や踏切の渋滞解消 ・未整備都市計画道路の整備 ・都市間や地域間連携強化に寄与する道路ネットワークの整備 	3.「都市拠点や地域生活拠点を中心に周辺都市や各地域を効果的に結ぶ道路体系づくり」 <ul style="list-style-type: none"> 方針1 周辺都市や各拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化 方針2 ボトルネックの解消による交通の円滑化 	3.「周辺都市や地域の連携を円滑化する道路ネットワークの整備」 <ul style="list-style-type: none"> 3-1 都市計画道路等の整備推進と見直し 3-2 広域的なアクセス機能の強化 3-3 橋梁の修繕及び長寿命化の推進 3-4 ボトルネックの解消
⑤安全性向上及び防災に寄与する道路空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や自転車安全、安心で快適に通行できる環境の形成 ・狭い道路の安全性・防災性の向上 	4.「移動しやすい安全・安心で快適な道路空間づくり」 <ul style="list-style-type: none"> 方針1 移動しやすい歩行者・自転車空間の連続性確保 方針2 安全・安心な道路環境形成に向けた防災・減災対策の推進 方針3 多様な移動環境における交通安全の意識向上 	4.「安全・快適な道路空間の確保」 <ul style="list-style-type: none"> 4-1 交通安全対策の推進 4-2 歩行者・自転車空間の整備 4-3 道路防災対策への助成

3 アクションプログラム

実施事業	主たる実施主体	協力組織	短期				中期				長期 R11年度以降
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
1 【交通結節点施策】 利便性の高い交通結節点の形成	1 自由通路・橋上駅舎化	弥富市	検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	2 駅前広場の整備	弥富市			検討	実施					
	近鉄弥富駅の駅前広場（北側）整備事業	弥富市			検討	実施					
	近鉄佐古木駅の駅前広場整備事業	弥富市			検討	実施					
	3 駅周辺市街地整備	弥富市			検討	実施					
	1 公共交通体系を支える取組みの推進	弥富市	国土交通省・愛知県・交通事業者 あいちエコモビリティ ライフ推進協議会			実施					
	エコ モビリティ ライフの推進	弥富市	愛知県 ITS 推進協議会			実施					
	ITSの推進	弥富市				実施					
	2 コミュニティバスの利便性向上、利用促進	弥富市	交通事業者			実施					
	3 福祉との連携	弥富市	交通事業者 周辺市町村			実施					
2 【公共交通施策】 移動を支える公共交通サービスの拡充	1 都市計画道路等の整備推進と見直し	弥富市	愛知県			実施					
	国・県道整備	国土交通省 愛知県	弥富市			検討					
	一宮西港道路整備	国土交通省 愛知県(予定)	弥富市			検討					
	中央幹線道路の整備	弥富市			実施						
	街路改良事業（都）稲波通線	弥富市			実施						
	街路改良事業（都）向陽通線	弥富市			実施						
	（都）弥富名古屋線の整備	愛知県	弥富市			実施					
	（都）国道1号西線の車線化	国土交通省	弥富市			検討					
	（都）名古屋第3環状線の整備	愛知県	弥富市			実施					
	（県）境政成新田蟹江線の道路改良	愛知県	弥富市			検討					
3 【自動車施策】 周辺都市や地域の連携を円滑化する道路ネットワークの整備	（主）弥富名古屋線（又八工区）道路改良	愛知県	弥富市			実施					
	橋梁整備事業	弥富市			実施						
	踏切対策の実施	弥富市	交通事業者			実施					
	4 ボトルネックの解消	弥富市			実施						
	市道鍋平28号線の交差点改良	国土交通省・愛知県・警察・弥富市			実施						
	主要渋滞箇所の渋滞対策の実施	弥富市	地域			実施					
	交通安全事業	弥富市			実施						
	道路維持事業（交通安全施設の維持・整備）	弥富市			実施						
	通学路の安全強化事業	弥富市	国土交通省・愛知県・警察			実施					
	市道鎌倉308号線の歩道設置	弥富市			実施						
4 【歩行者・自転車施策】 安全・快適な道路空間の確保	2 歩行者・自転車空間の整備	弥富市			実施						
	市道鎌倉鍋平1号線の歩道設置	弥富市			実施						
	（県）子宝愛西線（子宝工区）の歩道設置	愛知県	弥富市			実施					
	（県）子宝愛西線（又八工区）の歩道設置	愛知県	弥富市			実施					
	（県）一宮弥富線（海老江1丁目工区）の歩道設置	愛知県	弥富市			実施					
	ブロック塀等撤去費補助事業	弥富市			実施						
	3 道路防災対策への助成	弥富市			実施						
	狭あい道路の拡幅に対する助成事業	弥富市			実施						



- ・JR・名鉄弥富駅自由通路・橋上駅舎化事業
- ・JR・名鉄弥富駅の北口駅前広場等整備事業
- ・近鉄弥富駅の駅前広場(北側)整備事業
- ・JR・名鉄弥富駅及び近鉄弥富駅周辺市街地整備事業

(主) 弥富名古屋線
(又八工区) 道路改良

(都) 弥富名古屋線の整備

(県) 子宝愛西線(又八工区)
の歩道設置

近鉄佐古木駅の駅前広場整備事業

市道鎌倉鍋平1号線
の歩道設置

(県) 一宮弥富線
(海老江一丁目工区)
の歩道設置

市道鍋平28号線の交差点改良

(県) 子宝愛西線(子宝工区)
の歩道設置

街路改良事業
(都) 穂波通線

街路改良事業
(都) 向陽通線

(都) 弥富名古屋線の整備

(都) 名古屋第3環状線の整備

(都) 国道1号西線の4車線化

中央幹線道路の整備

一宮西港道路整備(ルート未確定)



市全体における実施事業

【公共交通施策】

- ・公共交通ネットワークの充実及び利用促進
- ・エコモビリティライフの推進
- ・ITSの推進
- ・コミュニティバス運行事業
- ・コミュニティバスのバスルート・ダイヤ見直し
- ・周辺自治体のバスの乗り入れ
- ・高齢者等福祉タクシー料金助成事業
- ・心身障がい者福祉タクシー料金助成事業
- ・ささえあいセンター事業

【自動車施策】

- ・都市計画道路見直し検討
- ・国・県道整備
- ・橋梁整備事業

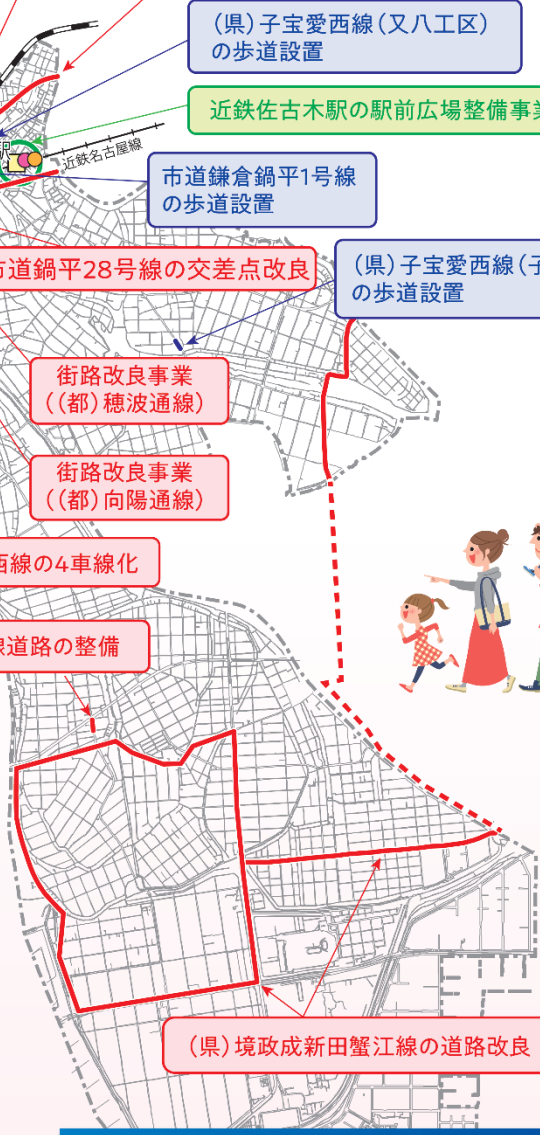
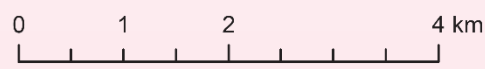


【歩行者・自転車施策】

- ・交通安全事業
- ・道路維持事業(交通安全施設の維持・整備)
- ・通学路の安全強化事業
- ・ブロック塀等撤去費補助事業
- ・狭あい道路の拡幅に対する助成事業

凡例

- 市役所
- 鉄道駅
- JR
- 名鉄
- 近鉄
- 交通結節点施策
- 自動車施策
- 踏切対策の実施検討
- 主要渋滞箇所の渋滞対策の実施検討
- 歩行者・自転車施策



4

評価指標

指標	施策パッケージ1	施策パッケージ2	施策パッケージ3	施策パッケージ4	現況	目標値		備考
	利便性の高い交通結節点の形成	移動を支える公共交通サービスの拡充	周辺都市や地域の連携を円滑化する道路ネットワークの整備	安全・快適な道路空間の確保	平成30年度 (2018年度)	令和5年度 (2023年度)	令和10年度 (2028年度)	
1 鉄道駅の利用者数	◎	○			766万人/年 (20,975人/日)	769万人/年以上	773万人/年以上	弥富市立地適正化計画 (乗降客数)
2 電車・駅関連施設の利用しやすさの点数	◎	○	○	○	2.8	2.8以上	3.0以上	都市計画マスタープラン市民アンケート
3 コミュニティバスの利用者数	○	◎			全体 8.3万人/年 北部ルート 3.3万人/年 南部ルート 3.6万人/年 東部ルート 1.4万人/年 ※令和元年度	全体 9.4万人/年以上 北部ルート 4.1万人/年以上 南部ルート 3.5万人/年以上 東部ルート 1.8万人/年以上	全体 10万人/年以上 北部ルート 4.5万人/年以上 南部ルート 3.5万人/年以上 東部ルート 2.0万人/年以上	弥富市地域公共交通計画 (利用実態調査)
4 都市計画道路整備率			◎	○	29.12km 55.1%	29.12km 55.1%	29.57km 55.9%	弥富市資料
5 幹線道路の平均旅行速度			◎	○	27.5km/h ※平成27年度	28.4km/h以上	31.7km/h以上	道路交通センサス
6 交通事故件数			○	◎	215件	200件以下	180件以下	弥富市資料



5 事業評価・推進体制

■事業推進体制

実施推進にあたっては、本計画の策定主体である弥富市が中心となり、関係者と連携を図り、事業の進捗状況を把握、確認するとともに、必要に応じて関係者との調整や情報交換を行うこととします。



■事業評価・改善の仕組み



実各実施主体が、各年度において個別事業の実施と進捗管理を行うことで、着実な事業実施に向けた環境を確保します。また、令和5年度(短期目標)に中間評価を行い、実施事業全体の効果と進捗状況を把握し、必要に応じて改善等を行います。目標年次である令和10年度(中期目標)には、実施事業全体の進捗状況と評価指標の達成状況を見直し、弥富市総合交通戦略の改定を行うPDCAサイクルを構築して進めていきます。

